

新生児グループ

所属メンバー

- ・長 和俊 (准教授・診療教授、昭和 60 年卒)
- ・水島 正人 (助教、平成 4 年卒)
- ・盛一 享徳 (大学院 4 年、平成 9 年卒)
- ・古瀬 優太 (大学院 3 年、平成 15 年卒)
- ・秋元 琢真 (大学院 1 年、平成 15 年卒)

外来患者数 (2010 年 4 月～2011 年 3 月)

小児科新生児外来 686 人/年

産科外来 (1 ヶ月健診) 335 人/年

体重区分別新生児数 (2010 年 1 月～12 月)

体重区分	新生児数	死亡数
～1,000g	14	3
1,000～1,500g	9	0
1,500～2,000g	26	0
2,000～2,500g	71	3
2,500～4,000g	202	1
4,000g～	1	0
計	323	7

多胎症例数

双胎 52 組 49 例

品胎 1 組 3 例

研究内容

- ・新生児慢性肺疾患の病態解析
- ・新生児慢性肺疾患モデルに対するエリスロポエチン投与の効果解析
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による新生児心不全発症予知
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による双胎間輸血症候群の重症度評価
- ・先天性肺胞蛋白症の病因解析
- ・先天性肺胞蛋白症の診断システム開発

競合的外部資金

母子健康協会小児医学研究助成 40 万円

著書

1. 長 和俊：新生児の人工換気：今日の治療指針 53 山口徹、北原光夫、福井次矢（編）．医学書院 東京：1134-1135, 2011

論文

1. 小西祥平：新生児慢性肺疾患モデルラットに対する生後ステロイド投与の影響．北海道医学雑誌 85(5)：297-302, 2010
2. 長 和俊：新生児 ALI/ARDS に対するサーファクタント補充療法とは？．救急・集中治療 22(9-10)：1306-1312, 2010
3. 長 和俊：RDS・TTN・MAS への対応．周産期医学 40(6)：899-902, 2010
4. 長 和俊：呼吸窮迫症候群．周産期医学 40 増刊：646-649, 2010
5. 長 和俊：気胸、気縦隔．小児科診療 73 増刊：834-835, 2010
6. 長 和俊：呼吸窮迫症候群、新生児一過性多呼吸．小児科診療 73 増刊：831-833, 2010
7. 長 和俊：胎児肺成熟診断法．産科と婦人科 77 増刊：212-218, 2010
8. 長 和俊：呼吸窮迫症候群．Neonatal Care 23(4)：352-357, 2010
9. 長 和俊：呼吸窮迫症候群の予知と予防．母子保健情報 62：17-22, 2010
10. 長 和俊：新生児の疾病構造．産業動物臨床医学雑誌 1(3)：131-141, 2010
11. 長 和俊：ビタミン K 欠乏性出血症．小児内科 42 増刊：816-819, 2010
12. 古瀬優太：晩期循環不全の病態と管理．周産期医学 41(1)：95-99, 2011
13. 水島正人：【「なぜ起こる？」を知って上手に乗り切る 産前・産後のマイナートラブル解決法 33】新生児編 便秘、下痢．ペリネイタルケア 29(5)：470-471, 2010
14. 水島正人：【「なぜ起こる？」を知って上手に乗り切る 産前・産後のマイナートラブル解決法 33】新生児編 嘔吐．ペリネイタルケア 29(5)：469-470, 2010
15. 盛一享徳：【早産・低出生体重児のフィジカルアセスメント】呼吸器．Neonatal Care 23(6)：590-596, 2010
16. 社会的リスクと周産期医療 札幌圏における未受診妊婦の実態調査 札幌市の未受診妊婦対策啓発活動の紹介
17. 山田 俊、長 和俊、小山貴弘、赤石理奈、武田真光、山田崇弘、島田茂樹、森川 守、遠藤俊明、館石宗隆、斉藤 豪、水上尚典：日本周産期・新生児医学会雑誌 46(4)：1097-1099, 2010
18. 雨瀧由佳、野町祥介、花井潤師、福士 勝、矢野公一、窪田 満、長尾雅悦、長 和俊：タンデム検査で偽陽性を生じる抗生剤使用の問題点とその対応について．日本マス・スクリーニング学会誌 20(3)：213-216, 2010

19. 森川 守、山田 俊、山田崇弘、小山貴弘、荒木直人、島田茂樹、赤石理奈、水島正人、長 和俊、水上尚典：妊娠糖尿病 gestational diabetes mellitus (GDM)におけるインスリン抵抗性と周産期予後の関連 胎児発育と胎児異常を中心に. 糖尿病と妊娠 10(1): 57-60, 2010
20. 水上尚典、長 和俊、山田 俊：札幌市の母体搬送コーディネートシステム. 母子保健情報 61: 86-90, 2010
21. Yamada T, Nishimura G, Nishida K, Sawai H, Omatsu T, Kimura T, Nishihara H, Shono R, Shimada S, Morikawa M, Mizushima M, Yamada T, Cho K, Tanaka S, Shirato H and Minakami H: Prenatal diagnosis of short-rib polydactyly syndrome type 3 (Verma-Naumoff type) by three-dimensional helical computed tomography. J Obstet Gynaecol Res 37(2), 151-155, 2011
22. Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Akaishi R, Nishida R, Cho K and Minakami H: Change in the number of patients after the adoption of IADPSG criteria for hyperglycemia during pregnancy in Japanese women. Diabetes Res Clin Pract 90(3): 339-342, 2010
23. Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Koyama T, Akaishi R, Takeda M, Araki N, Cho K and Minakami H. Evidence of the escape of antithrombin from the blood into the interstitial space in pregnant women. J Perinat Med 38(6): 613-615, 2010
24. Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Shimada S, Koyama T, Cho K and Minakami H: Pregnancy-induced antithrombin deficiency. J Perinat Med 38(4): 379-385, 2010

学会発表・講演

1. 長 和俊：サーファクテンの用法・用量に関する全国調査. 第 46 回日本周産期・新生児医学会、神戸、2010/7/11-13
2. 長 和俊：グラフィックモニターの見方. 未熟児新生児学会教育セミナー、高松、2010/8/26-28
3. 長 和俊：新生児蘇生法講習. WIND サマーセミナー、洞爺、2010/9/11-12
4. 長 和俊：サーファクテンの用法・用量に関する全国調査. 北海道新生児談話会、札幌、2010/9/25
5. 長 和俊：サーファクテンの用法・用量に関する全国調査結果の報告. 第 213 回長野県周産期医療カンファランス・第 18 回長野県サーファクタント研究会・第 58 回総合周産期センター周産期医療関係者研修会・長野県立病院機構研修センターこども病院分室研修会・信州大学周産期医療人材育成プロジェクト研修会、2010/10/6
6. 古瀬優太：子宮内炎症に起因する新生児慢性肺疾患に対するエリスロポエチンの肺保護作用に関する研究. 第 22 回新生児慢性肺疾患研究会、浜松、2010/10/16

7. 長 和俊：本邦における先天性肺胞蛋白症の現状(会長講演)．第 47 回日本肺サーファクタント・界面医学会、札幌、2010/10/23
8. 長 和俊：本邦における先天性肺胞蛋白症の有病率推定に関する研究．第 55 回日本未熟児新生児学会、神戸、2010/11/5-7
9. 長 和俊：新生児の疾病構造（基調講演）．第 34 回大動物臨床研究会シンポジウム、江別、2010/11/20
10. Furuse Y: Recombinant human erythropoietin prevents lung damage in a rat model of bronchopulmonary dysplasia. 16th Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies (FAOPS)、ニューデリー、2010/12/14-17
11. Cho K: National survey of congenital alveolar proteinosis in Japan. 16th Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies (FAOPS)、ニューデリー、2010/12/14-17
12. 長 和俊：新生児の疾病構造．第 1 回大動物臨床研究会東京シンポジウム、東京、2011/2/5

社会貢献

1. 長 和俊：日本助産師会北海道支部主催 第 2 回新生児蘇生法研修会（天使大学）．2010/8/22
2. 長 和俊：新生児蘇生法講習会（天使大学）．2010/10/2

学会活動

周産期・新生児医学会

評議員，周産期シンポジウム運営委員（長）

日本未熟児新生児学会

理事，医療機材安全性確認委員会委員，輸血問題小委員会委員（長）

日本産婦人科・新生児血液学会

評議員（長）

日本新生児医療連絡会

役員（長）

日本臨床モニター学会

評議員（長）

日本肺サーファクタント・界面医学会

理事（長）

平成 22 年度専門医取得

日本小児科学会専門医（秋元）